

平成 27 年 11 月 8 日

# 南の風 160

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

関東ミニバス大会神奈川予選の結果です。11月3日（祝・火）が最終日でした。観戦することができませんでした。結果を書きます。

＜男子決勝＞ 藤沢本町 31 vs 菊名 54 ＜女子決勝＞ 戸塚 35 vs 川上北 36

**優勝した、菊名ミニバスクラブ、川上北ブルーデビルズの選手の皆さん、関係者の皆様、**

**おめでとうございます！！**

今年の関東予選は、大接戦のゲームが多かったようです。男子準決勝の、藤沢本町 vs 川上北のゲーム（40対38）、女子ベスト16の柿生 vs 六浦南（42対41）、ベスト8の矢部 vs 逗子（36対35）、同じくベスト8の川上北 vs 成瀬（37対36）などです。実力拮抗のチームが多いのだと思います。

横浜のチームが3チーム、関東大会に出場予定です。たいへんうれしいニュースです。

全国予選に向けても、混戦になることが予想されます。手に汗握る大熱戦を期待したいと思います。コーチの采配にも注目したいと思います。

なお、決勝戦に出場した4チームは、平成28年1月9日～11日（土～祝・月）に茨城県で行われる第37回関東ミニバスケットボール大会に出場する予定です。神奈川県代表として、力の限り戦ってきてください。**健闘を祈ります！！**

さてここで、マンツーマンディフェンスについて書きます。

いろいろなカテゴリーの指導者の方から、『ゾーン禁止』について聞かれることがあります。

**平成28年度から、ミニ、中学は正式に『ゾーン禁止』が導入予定です。**

現在、神奈川県ミニバス連盟では、マンツーマンのディレクター研修や、コミッショナー育成講習会が、関東予選を研修ゲームにして行われました。『マンツーマン推奨』という見地からです。

私もこの件について、お話をさせてもらいましたので紹介しておきます。

まず、マンツーマンディフェンスにはいろいろメソッドがあります。「このマンツーマンでなければならない」というのが、最初からあってはならないと思います。マンツーマンディフェンスはディフェンスの基本であり、ミクロ、ミニの時代からしっかり指導すべきスキルです。ただ、組織の上に立つ人の考え（自分が正しいと思うマンツーマンディフェンス）だけで押し進めることは避けなければいけません。スキルやストラテジー&タクティクスは多くの指導者の研究や実践によって進化するものです。各種の講習会やクリニックで講師が独自のマンツーマン（その講師が考えるスキル）を教えることは問題ありません。なぜなら講習を受ける側に選択の余地があるからです。しかし組織のトップが、規則を構築するために「このマンツーマンでやってください。」というのは『価値観』の問題になるので、十分注意が必要になります。ディレクターやコミッショナーを育成するのであれば、マンツーマンディフェンスについて最小限度の共通理解があればいいのです。あまりに恣意的になってはいけません。

次号では、私が中学校女子練習会で指導しているマンツーマンディフェンスを紹介します。